



総研大ニューズレター

第78号 2014.11 発行

●目次

【今月のトピックス】

平成 26 年度秋季入学式	総務課
平成 26 年度後学期「総研大フレッシュマンウィーク」 フレッシュマンウィーク 学生セミナー	学融合推進センター 学務課
日本留学フェア・総研大国際連携活動 in ミャンマー・タイ 地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパス 日本歴史研究専攻 大学院秋季説明会 プレスリリース	地域・比較文化学専攻 日本歴史研究専攻
「バレンツ海の水氷面積が1年前から予測可能に ～北大西洋からの水温の影響を考慮～」	広報室

【イベント情報】

主なイベント予定	
11月1日	国立遺伝学研究所 公開講演会 2014 (遺伝学専攻紹介 同時開催)
11月3日	第17回先端科学研究科・学術講演会
11月7日	統計科学専攻 大学院説明会
11月8日	基礎生物学専攻 大学院説明会
11月8日	生命共生体進化学専攻説明会
11月10日～15日	総研大レクチャー「アーカイブズ学集中講義」
11月22日	大学共同利用機関シンポジウム 2014「研究者博覧会」
11月28日～29日	学生企画事業『「奈良のシカ」環境学習セミナー2014 上級編』

【今月のトピックス】

● 平成 26 年度秋季入学式



平成 26 年 10 月 7 日 (火)、湘南国際村センターにおいて、平成 26 年度秋季入学式が行われ、32 名の入学者を迎えました。式典に先立ちピアノ演奏があり、開式の辞、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、入学が許可されました。式典の最後には、岡田学長より

式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。

【総務課】

● 平成 26 年度後学期「総研大フレッシュマンウィーク」

フレッシュマンウィーク

去る 2014 年 10 月 7 日から 12 日までの 6 日間、10 月入学の新生及び在学学生を迎えて、フレッシュマンウィークが開催されました。フレッシュマンウィークは本学の学長イニチアティブ事業の 4 本の柱の一つで、今年度春から実施されています。フレッシュマンウィークは学生セミナー（10 月 7 日・8 日開催）とフレッシュマンコース（10 月 9 日・10 日開催）の二つのプログラムで構成されています。さらに希望者には日本語の入門講義（10 月 11 日・12 日）が用意されています。特に、10 月入学の学生には留学生が多いことから、全講義・プログラムが英語で行われるなど、春とは異なる点がさまざまありました。ここではフレッシュマンコースと日本語の入門講義を振り返ります。「学生セミナー」については、別に掲載記事があるので、そちらを参照してください。

10 月 9 日 9 時から、総研大ガイダンスが行われました。講師は、情報基盤センター長の 大田先生、図書委員の 飯田先生、そして学融合推進センター副センター長の 颯田です。大田先生は、本学の e-mail システムや遠隔授業をサポートするシステムについて、また飯田先生は電子ジャーナルについて、そして颯田は、大学本部や学融合推進センターで行われている授業、学生を支援する様々な取り組みなどについての概要を話しました。続く 2 限目は、遺伝学専攻長・国立遺伝学研究所長の 桂勲先生による「研究者入門」の特別講義でした。研究者になるという夢を持って入学してきた学生ではありますが、それと同時に「自分は研究者になれるだろうか?」「どのようにしたら研究者になれるのか?」などの不安を多かれ少なかれ感じていると思います。桂先生の講義はそのような不安を払拭させるに相応しく、学生も非常に熱心に講義に聞き入っていました。講義後も次々と学生が先生の元をおとずれ、質問していたことから、この講義が有意義であったことがうかがえます。午後からは「科学・技術と社会 I」の講義が行われました。講義は、ワークショップや、グループディスカッションを取り入れたインタラクティブな構成になっており、学生たちもいきいきと議論に参加していました。さらに、夕刻からは、学長・理事を招いての懇談会が開催されました。それぞれ 7~8 名の学生と学長あるいは理事を囲んで三つのテーブルに分かれました。まず、学長と理事より、学生へメッセージが伝えられ、その後懇談が行われました。各グループとも、予定時間を超えて懇談が盛り上がり、学生にとっては貴重な時間となったことと思います。翌日 10 月 10 日は引き続き、「科学・技術と社会 I」の講義が行われました。この講義が終了して、翌日からの日本語講座を受講しない学生は、それぞれの基盤へ帰ることとなりますが、帰る前には参加した学生同士が声を掛け合い、一緒に写真をとる姿が見受けられました。



さらに 10 月 11 日と 12 日には、留学生を対象とした日本語の入門講義が開催されました。今年

は、この講義への参加者が、在校生2名を加えて18名にのぼり、全体を3つのクラスに分けることができました。日本語の学習経験のある留学生も数名おり、和やかな雰囲気の中で講義が続けられました。10月12日は台風19号の接近が危惧されたため、午後の授業は1時間ほど早めに終了して、解散となりました。

このフレッシュマンウィークの効果は、今後のアンケート結果を待たないと客観的な判断はできませんが、学生たちは一様に生き生きとした1週間を送っていたように見えます。今後は、ここで築いたネットワークの持続も含め、フレッシュマンウィークで得たものをいかに各自の学生生活に生かしていけるかが課題になると思います。学融合推進センターでも、学生の活動を積極的にサポートする取り組みを考えていかなければならないでしょう。

【生命共生体進化学専攻教授・学融合推進センター副センター長 颯田葉子】

学生セミナー

10月7日、8日にかけて、留学生が主体となって作り上げる、後学期学生セミナーが実施されました。本年度は「Odyssey」をテーマに、2つの講演と、1つのラウンドテーブル、そして2つのワークショップが開催されました。

一日目は遺伝学研究所の明石裕先生が、海外出身者の日本での研究生活を語ってくれました。次に総研大の先輩を招き、これからの研究生活について直接新入生が質問するラウンドテーブルが開催されました。情報学専攻出身の中国からの留学生ザオさんは2年前に学位をとって、今は愛知の大学でポストドクとして活躍しています。今年学位をとったばかりのペルーからの留学生のダニエルさんは、地域文化学専攻で考古学を研究していました。二人からは、学位をとるまでの苦労とその乗り越え方を教わりました。また、唯一の在学学生である生理科学専攻の菊地原さんには日本人学生と留学生との付き合い方について色々な質問が飛び交いました。その後、学生同士のネットワークを築くため、初めにそれぞれ友達になり、そして、その友達のことをビンゴシートに記して、列をそろえるという自己紹介ワークショップが開催され、大いに盛り上がりました。

2日目は高エネルギー加速器研究機構の物理学者でオペラの演出家という異色の経歴を持つ大須賀関雄先生から、日本の文化について朗々と語っていただきました。次に、参加者は社会的課題をチームで話し合うワークショップを体験し、総研大ならではの学際的視点というものを体験しました。

その後、参加者は鎌倉で日本の文化を学ぶ日本文化紹介コースに参加しました。鎌倉では鐺木清方美術館で美人画を堪能したのち、浄妙寺でお茶体験を行いました。そして、建長寺、八幡宮と鎌倉で定番の神社仏閣に立ち寄り、今度はプライベートで行きたい！という声が多く上がりました。

最初は緊張していた新入生もすっかり打ち解け、あちらこちらで専攻を超えたネットワークの輪という名の友達が出来上がっていました。

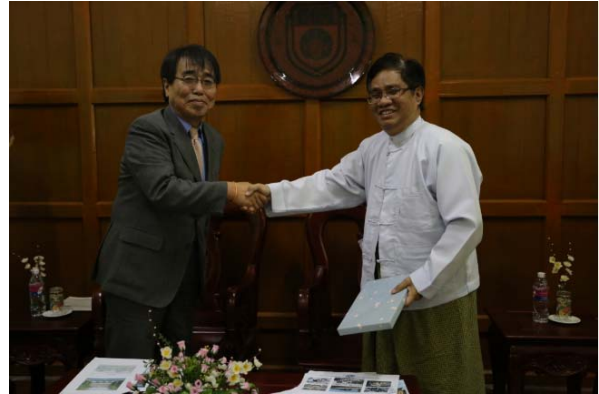


【学融合推進センター助教 奥本素子】

● 日本留学フェア・総研大国際連携活動 in ミャンマー・タイ

平成 26 年 8 月 27 日から 9 月 3 日までの 7 泊 8 日の日程で、田村克己理事（評価・国際連携担当）をはじめとし、蟻川謙太郎教授（生命共生体進化学専攻）、三原智教授（素粒子原子核専攻）、木村誠宏准教授（加速器科学専攻）、他事務職員 3 名の計 7 名がミャンマー、タイを訪問し、日本留学フェアに参加する等、現地での広報活動・国際交流活動を行いました。

まずミャンマーでは、今まで本学と交流の無かったヤンゴン大学、ヤンゴン工科大学を訪問し、総合研究大学院大学を紹介する機会を得たほか、日本とミャンマーの交流に深い関連性を持つ JICA（独立行政法人国際協力機構ミャンマー事務所）や MAJA (Myanmar Association of Japan Alumni) を訪問し、今回の訪問を機にぜひ総研大という特色ある研究機関を知ってもらい、博士課程を志すミャンマーの学生達に本学を紹介していただけるよう依頼しました。あわせて、日本大使館の丸山市郎公使、JICA ミャンマー事務所の田中所長などとの懇談の機会をもちました。



ヤンゴン工科大学の教職員とのミーティング ヤンゴン大学副学長 Dr. Kyaw Naing と田村理事

続いてタイに移動した翌日 8 月 31 日には、日本留学フェアでの大学ブース出展に参加しました。日本留学フェアは、日本学生支援機構が海外で主催する日本留学促進イベントです。バンコクで開催された留学フェアに参加した機関は全部で 89 機関、日本の大学・専門学校・日本語学校等が一堂に会し、各自のブースで自校の PR を行う様子は圧巻でした。総研大のブースでは、一日中途切れることなく来場者が訪れ、1 日で 60 名程度の学生と個別面談をし、本学の魅力や入試制度、経済的支援の制度について紹介することができました。今回の留学フェアに際し、タイ出身の総研大の修了生に協力を呼びかけたところ、5 名の参加者がありました。現地のタイで来場者に声をかけ、総研大で研究活動を行った修了生として、より専門的な立場から具体的にアドバイスをする彼らと熱心に聞き入る学生達の姿をみて、留学フェアで現地の修了生に協力を依頼するという今回の試みに大きな成果を感じる事が出来ました。総研大のブースを訪れたタイの学生達は、初めて総研大の存在を知る学生も多かったようですが、大学共同利用機関を基盤機関に持ち、そこで研究・学生生活を送るという本学のユニークな制度に、おおいに興味を持った様子でした。また、実際にバンコクの日本留学フェアに参加して、タイの学生の日本への博士課程留学への関心の高さに改めて気づかされました。



日本留学フェア（バンコク）での総研大のブース

また、バンコク訪問の機会を利用して、タイ在住の修了生を招いての懇談会、協定校訪問、修了生研究室訪問を行いました。田村理事より、総研大はタイに修了生を持つことを大変誇りに思っていること、また本学の活動に進んで参加してくれたことについてありがたく思うとともに、今後とも総研大の活動に参加してもらえるよう述べると、参加した修了生達から非常に好意的な反応があり、タイでの総研大の広報活動・国際交流活動について協力を惜しまない旨提案がありました。

協定校訪問では、本学物理科学研究科と部局間協定を締結しているチュラロンコーン大学理学部、カセサート大学理学部を訪問し、ミーティングを行いました。ミーティングでは、田村理事より、改めて(1)大学共同利用機関という研究所を基盤に持つ、本学の特徴的な制度、(2)岡田新学長は国際連携を重要な柱としてとらえており、中でも東南アジア地域との交流を積極的に行っていきたいと考えていること、(3)今回の公式訪問を機に、大学間の交流をますます活性化させていきたいとの説明をしました。チュラロンコーン大学、カセサート大学の双方からも、現在研究科レベルの交流から大学間へ交流分野を広げていきたいとの積極的な要望が上がりました。



チュラロンコーン大学でのミーティング



カセサート大学でのミーティング

修了生の研究室訪問では、2007年9月 情報学専攻修了した ATCHARIYACHANVANICH KANOKWAN さんのアレンジで、KMITL (King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang) の情報学部を訪問しました。KMITL からは総研大へ若手教員派遣を積極的に検討したい旨要望があがりました。総研大からは、総研大の修了生である KANOKWAN さんをキーパーソンに KMITL との交流を促進していきたい旨お伝えしました。

上記の他、チュラロンコーン大学理学部生物学科で本学生命共生体進化学専攻の蟻川教授が講演（"How do butterflies see colors? - a neuroethological approach"）を行ったほか、加速器科学専攻の木村准教授が Chiang Mai University、Mahasarakham University、Rajamangala University of Technology Isan Khon Kaen Campus を訪問し、高エネルギー加速器研究機構での研究活動及び総研大の概要説明を行いました。



チュラロンコーン大学理学部生物学科での
蟻川教授の講演



Rajamangala University of Technology
Isan Khon Kaen Campus 訪問

ミャンマー、タイの二カ国を一週間という短い滞在期間で訪問する出張となりましたが、多くの関係の方々のご協力により、大変充実した公式訪問となりました。まだ交流実績のないミャンマーでは、多くの大学や機関で総研大を紹介する機会を持てたこと、またタイでは、総研大の持つ人財（人材）の素晴らしさ、また今後の大いなる可能性を改めて認識した一週間となりました。今回のミャンマー、タイ公式訪問とバンコクでの留学フェアを機に、両国における本学への知名度が少しでも向上し、総研大の国際的学术交流ネットワークが今後益々拡大していくことを期待しています。

【学務課】

● 地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパス



10月12日（日）、国立民族学博物館において、平成26年度総合研究大学院大学 文化科学研究科 地域文化学専攻・比較文化学専攻のオープンキャンパスが開催されました。民博でのオープンキャンパス開催は、平成12年度に始まり、今年で15回目を迎えます。今回は台風が近づきあいにくの天候にもかかわらず、7名の参加がありました。

説明会は、須藤健一館長および総研大葉山本部の田村克己理事（民博・名誉教授）による挨拶に引き続き、大学院と民博の概要、大学院の教育内容や入試などについて各担当教員からの解説があった後、質疑応答を行いました。参加者は真剣な表情で説明に聞き入っており、進学を想定した具体的な質問も多く、活発な質疑応答となりました。

その後、場所を大学院生室に移し、交流会を開催しました。交流会では、比較文化学専攻の卒業生であるサウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ氏による「民博では具体的にどのような学生生活を送るのか」等、実際に経験してきた卒業生ならではのエピソードが語られ、参加者に好評でした。その後、参加者と民博の教員・在学生との歓談の時間を設けました。参加者からは、実際にキャンパスを訪れ、教員や学生と交流することで得られた情報も多く、大変参考になったという意見が寄せられています。

【地域・比較文化学専攻】

● 日本歴史研究専攻 大学院秋季説明会

去る10月26日（日）、日本歴史研究専攻（国立歴史民俗博物館）は、平成26年度大学院秋季説明会を開催しました。同専攻では、既に夏季説明会を実施しておりますが、2回目となる説明会を例年この時期に、国立歴史民俗博物館において開催しております。

はじめに大会議室で、小池淳一専攻長から挨拶があり、担当の山田康弘准教授及び澤田和人准教授から、学生生活及び入試についてそれぞれ説明が行われました。その後、院生室や図書室などの入学後使用することになる施設の見学・説明が行われました。

続いて資料調査室で、坂本稔教授から、分析機器を紹介しながら分析方法に関する具体的な解

説があり、また、上野祥史准教授から、古墳出土資料など本館が所蔵する貴重資料を実見しながら説明が行われました。

さらに展示室に場所を移し、現在開催中の国際企画展示「文字がつなぐー古代の日本列島と朝鮮半島ー」を見学しました。古代の日本列島と朝鮮半島で使用された膨大な文字資料の展示について、展示代表者を務める小倉慈司准教授からの詳細な説明のもとに行われた展示見学では、<資源><研究><展示>という3つの要素を有機的に連携させ、その成果を国内外の幅広い人々と<共有・公開>するという「博物館型研究統合」の理念について、参加者は理解を深めることができたようです。

大会議室に戻り、川村清志准教授から、民俗研究の成果のひとつである映像資料について説明があった後、実際に撮影された民俗研究映像が上映されました。最後に、参加者は歴史や考古など各自の専門分野に分かれて、教員、現役院生らと直接、入試や入学後の研究の進め方などについて、話し合いが行われましたが、活発な質疑応答から、説明会参加者の大半が、受験を希望していることがわかりました。

説明会後に実施したアンケートには、「博物館と一体となった大学院に魅力を感じました」等の感想が寄せられ、好評のうちに大学院秋季説明会は幕を閉じました。



専門分野ごとにわかれて懇談する
参加者・教員・現役院生



分析機器について説明する坂本稔教授

【日本歴史研究専攻】

● プレスリリース「バレンツ海の水氷面積が1年前から予測可能に ～北大西洋からの水温の影響を考慮～」

<概要>

国立極地研究所の中野渡拓也特任研究员らの研究チームは、ノルウェーの北に位置するバレンツ海における初冬（11～12月）の水氷の多寡が、上流にあたる北大西洋の1年前の水氷面積によって決まっていることを、広域の海洋データの解析によって明らかにしました。

バレンツ海の冬季の水氷減少が日本を含むユーラシア大陸の厳冬をもたらすことはすでに知られており、その原因として、バレンツ海の水氷減少に起因する中緯度大気の流れの変化が指摘されてきましたが、バレンツ海の水氷変動自体が何によって決まっているのかについては十分理解されていませんでした。

そこで中野渡研究员らは、過去30年にわたる大気と海洋の3次元データを統計解析することによって、海水温度が水氷面積に与える影響を調べました。その結果、初冬のバレンツ海の水氷面積は、およそ1年前の北大西洋の流入水温と相関していることがわかりました。この相関関係は、バレンツ海に入り込んだ北大西洋起源の熱が1年かけてバレンツ海東部へと移動し、初冬に水氷の生成を抑えていることを意味します。

これらの知見に基づき、2014年の初冬（11～12月）のバレンツ海の海氷面積を、同年1月の北大西洋の水溫データから予測したところ、今冬の海氷面積は平年並みかやや少ないという予測結果が得られました。

この成果は、米国気象学会発行の学術誌 Journal of Climate の11月号に掲載される予定です。また、オンライン版には日本時間の9月24日に掲載されました。



<発表論文>

掲載誌：Journal of Climate

タイトル：Predictability of the Barents Sea ice in early winter: Remote effects of oceanic and atmospheric thermal conditions from the North Atlantic

著者：中野渡 拓也

現：国立極地研究所 北極観測センター特任研究員（受入機関：海洋研究開発機構）
論文執筆当時：北海道大学 低温科学研究所

佐藤 和敏

総合研究大学院大学 複合科学研究科 極域科学専攻
海洋研究開発機構 地球環境観測研究開発センター 研究生

猪上 淳

国立極地研究所 気水圏研究グループ 准教授
総合研究大学院大学 複合科学研究科 極域科学専攻 併任准教授
海洋研究開発機構 地球環境観測研究開発センター 招聘主任研究員

【広報室】

【各種募集】 現在公募中の情報

応募期間	イベント名称・提出先	参考URL
平成26年12月31日(水)	学融合推進センター 萌芽的研究会開催支援	http://cpis.soken.ac.jp/project/research/houga/index.html
平成27年2月28日(土)	学融合推進センター 出版補助事業 研究論文掲載費等助成	http://cpis.soken.ac.jp/project/research/ronbunhojo/index.html

【イベント情報】

●総研大の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
1日(土)	12:30-16:30	国立遺伝学研究所 公開講演会2014 「アキバで遺伝学」(遺伝学専攻大学院説明会) 秋葉原コンベンションホール	http://www.kokai-koenkai.jp/
3日(月)	10:00-12:00	第17回先導科学研究科学術講演会 葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/event/20141103/
7日(金)	14:00-16:00	統計科学専攻 大学院説明会 統計数理研究所 2階会議室1	http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html
8日(土)	13:00	生命科学研究科 基礎生物学専攻 大学院説明会 秋葉原UDXカンファレンス	http://www.nibb.ac.jp/graduate/index.html
8日(土)	13:00-17:00	2014年度総研大先導科学研究科 生命共生体進化 学専攻説明会 秋葉原UDXカンファレンス 会議室type120(E)	http://www.esb.soken.ac.jp/admissions/open_campus/20141108.html
10日(月)-15日(土)		総研大レクチャー「アーカイブズ学集中講義」 福岡市博物館	http://www.soken.ac.jp/event/20141110_ac/
22日(土)	12:00-17:00	大学共同利用機関シンポジウム2014「研究者博覧 会」 東京国際フォーラム ホールB7	http://www.nibb.ac.jp/inter2014/
28日(金)-29日(土)		学融合教育事業・学生企画事業「「奈良のシカ」 環境学習セミナー2014上級編」 奈良県	http://www.soken.ac.jp/event/20141128/

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
2日(火)-5日(金)		総研大アジア冬の学校「プラズマ物理と核融合科 学における複合的アプローチ」 核融合科学研究所	http://nsrp.nifs.ac.jp/aws2014/index-j.shtml
15日(月)-17日(水)		総研大レクチャー「科学技術倫理と知的財産権— 学術研究の適切なすすめ方 ② 応用編」 放送大学学園東京オフィス2階会議室	http://www.soken.ac.jp/event/on/2014/12/?event-category=calendar
20日(土)-21日(日)		文化科学研究科 学術交流フォーラム2014「文化 をカガクする？」 国立民族学博物館	http://www.soken.ac.jp/event/bunkaforum2014/

●基盤機関の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
9月4日(木)~11月18日(火)	10:00-17:00	企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」 開幕、閉幕 国立民族学博物館 企画展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/greenland20140904/index
9月11日(木)~12月9日(火)	10:00-17:00	特別展「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20140911power/index
10月7日(火)~11月16日(日)		紀州徳川家伝来の楽器-笛- 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/next.html
10月9日(木)~11月5日(水)	10:00-16:30	特別展示「中原中也と日本の詩」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/
10月15日(水)~12月14日(日)		国際企画展示 文字がつなぐ-古代の日本列島と朝鮮半島- 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/next.html
10月25日(土)~11月2日(日)	13:30-16:30	【企画展関連】ワークショップ「グリーンランドの彫像トゥピラクを作ろう」 国立民族学博物館 企画展示場、第3セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/ws_20140907
1日(土)	10:00-15:00	第95回歴博フォーラム「古代東アジアの文学文化交流」 国立歴史民俗博物館 歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html
1日(土)	①10:30-12:00 ②13:00-15:30	研究フォーラム「学校芸能の現在」 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20141101
1日(土)	12:30-16:30	国立遺伝学研究所 公開講演会2014 「アキバで遺伝学」 秋葉原コンベンションホール	http://www.kokai-koenkai.jp/
1日(土)	13:00-15:30	【新展示関連】研究公演「りんけんバンドみんなばく公演」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/forum/20140330e-asia/index#kenkyu
1日(土)	13:30-16:00	平成26年度国文学研究資料館「古典の日」講演会 イノホール	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/lecture/2013/kotennohi.html
2日(日)	14:30-15:30	【新展示関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「沖縄音楽を育むひとびと」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
3日(月・祝)	①12:30-13:30 ②14:30-15:40	ものづくりワークショップ「仮面で変身してみよう！」 国立民族学博物館 エントランスホール	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/mmp/20141103
3日(月・祝)	14:00-16:00	フィリップ・デスコラ博士講演会「イメージの人類学」 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20141103
4日(火)	18:30-20:40	みんなく公開講演会 「無形文化遺産 選ぶ視点 選ばれる現実」 日経ホール	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/alp/141104
4日(火)~7日(金)		第24回国際土岐コンファレンス「相互促進によって拡大するプラズマおよび核融合科学の地平」 セラトピア土岐	http://itc.nifs.ac.jp/
5日(水)~30日(日)		特別企画「伝統の古典菊」 国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html
8日(土)	10:15-16:50	公開フォーラム「文化遺産の人類学」 国立民族博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/corp/20141108
8日(土)	13:00-15:00	第371回歴博講演会「文字文化から見た古代の日本と朝鮮」 国立歴史民俗博物館 歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html

9日(日)	11:30-12:00	展示場ミニレクチャー みんなくワールドシネマ「海と大陸」関連 国立民族博物館 本館展示場(ヨーロッパ展示場)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/lecture_movies1411
9日(日)	13:30-16:00	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ「海と大陸」 国立民族博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies1411
12日(水)	13:00-14:30	カレッジシアター「地球探究紀行」『イスラームの世界観—アラビアンナイトから考える』 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階「SPACE9」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/collectiontheater
12日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル—イメージの力をさぐる—」『イメージと商品化』 グランフロント大阪北館1Fナレッジキャピタル The Lab. CAFE Lab.	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/20140912-1126
15日(土)-16日(日)	10:00-16:00	北大阪ミュージアムメッセ 国立民族学博物館 地下休憩所、エントランスホール	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/20141115-1116
15日(土)	13:30-15:00	【特別展関連】みんなくゼミナール「美術館からみたみんなくコレクション」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20140911power/event#seminar
19日(水)	13:00-14:30	カレッジシアター「地球探究紀行」『地域社会にねづくイタリアの食』 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階「SPACE9」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/collectiontheater
22日(土)-23日(日)	13:00-16:30	【特別展関連】ワークショップ「体感!!イメージの力」 国立民族学博物館 第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/ws_20141122-23
22日(土)	13:30-15:30	第188回企画展示「菊細工のはなし」 国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/index.html
23日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「民族資料と芸術作品のあいだ」 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/362
26日(水)	13:00-14:30	カレッジシアター「地球探究紀行」『インド・サリーの世界』 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階「SPACE9」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/collectiontheater
26日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル—イメージの力をさぐる—」 『色と光が放つイメージ』 グランフロント大阪北館1Fナレッジキャピタル The Lab. CAFE Lab.	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/20140912-1126
27日(木)	10:30-11:50	ミンパク オッタ カムイノミ (みんなくでのカムイノミ) 国立民族学博物館 玄関前広場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/kamui14
29日(土)-30日(日)	(土)13:00-15:45 (日)10:00-17:00	第38回国際日本文学研究集会 国文学研究資料館 2階大会議室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/symposium/2014/japanese_literature.html
29日(土)	13:30-15:00	【特別展関連】トークイベント「イメージの力」 いしいしんじ [小説家] 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/20140927-1129
30日(日)	14:30-15:30	【特別展関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「デジタルビューアで楽しむ『イメージの力』」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/363

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
9月11日(木)– 12月9日(火)	10:00–17:00	特別展「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」 閉幕 国立民族学博物館 特別展示館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20140911power/index
1日(月)–1月下旬	10:00–16:30	特設コーナー「百人一首の広がり—カルタと浮世絵—」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2014/chuyua.html
1日(月)–27年3月31日(火)	10:00–16:30	通常展示「書物で見る 日本古典文学史」 国文学研究資料館 展示室	
2日(火)–2月1日(日)		冬の華・サザンカ 国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑	
3日(水)	13:00–14:30	カレッジシアター「地球探究紀行」 『巨大な屋根の謎—インドネシアの家屋と集落』 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階 「SPACE9」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/collegetheater
5日(金)–6日(土)		国際ワークショップ「人の移動と民族的／地域的 共同性 の再構築」 第4セミナー室	
6日(土)–7日(日)		国際シンポジウム「世界の食文化研究と博物館」 国立民族学博物館 講堂	
7日(日)	14:30–15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20140911power/event#salon
9日(火)–1月18日(日)		新収資料の公開—江戸の小袖— 国立歴史民俗博物館	
10日(水)	13:00–14:30	カレッジシアター「地球探究紀行」 『江戸の探検家、間宮林蔵と北方民族』 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階 「SPACE9」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/collegetheater
11日(木)–1月27日(火)	10:00–17:00	年末年始イベント「ひつじ」 国立民族学博物館 本館展示場 ナビひろば	
13日(土)	13:00–15:00	第372回歴博講演会「里山とは?—千葉県房総丘陵 にみる自然利用の歴史—」 国立歴史民俗博物館 歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
14日(日)	14:30–15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
17日(水)	13:00–14:30	カレッジシアター「地球探究紀行」 『現代中国の農村のくらし—ある家族の幸せのかたち』 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館9階 「SPACE9」	http://www.minpaku.ac.jp/museum/showcase/activity/collegetheater
20日(土)	13:30–15:00	みんなくゼミナール「グローバル化の中の財団」 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar
20日(土)	13:30–15:30	第189回企画展示「サザンカの魅力」 国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑	
21日(日)	14:30–15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
21日(日)		公開シンポジウム「マヤ語からみた 言語と思考と脳」 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20141221

【受賞等】

○複合科学研究科 統計科学専攻 朴堯星 助教
日本計画行政学会 第26回論文賞 受賞

○複合科学研究科 統計科学専攻 池端久貴 学生
生命医薬情報学連合大会 (IIBMP2014) JSBi 最優秀口頭発表賞および JSBi 研究奨励賞 受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 越前功 教授
第13回ドコモ・モバイル・サイエンス賞 先端技術部門優秀賞 受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 宇野毅明 教授
社団法人情報処理学会 2014年度山下記念研究賞 受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 町田史門 学生
社団法人情報処理学会 2014年度山下記念研究賞 受賞

○生命科学研究科 遺伝学専攻 角谷徹仁 教授
日本遺伝学会第86回大会 日本遺伝学会木原賞 受賞

○生命科学研究科 遺伝学専攻 長田直樹 助教
日本遺伝学会第86回大会 日本遺伝学会奨励賞 受賞

○生命科学研究科 遺伝学専攻 斎藤成也 教授
フランス, トゥールーズ第三大学 名誉博士号 授与

○先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 沓掛展之 講師
日本動物行動学会 2014年度日本動物行動学会賞 受賞

【編集後記】

本号で掲載されているフレッシュマンウィークの実施に携わりました。私は異動してから初のフレッシュマンウィークだったので、大した力にはなれませんでした。皆さんは準備から大忙しです。特に後期新入生は海外からの留学生が多いため、ムスリムやベジタリアンへの食事や各種の英語対応など、講義以外にも配慮することが多くなります。私が直接聞いた話ではありませんが、最終日、学生が帰宅する際に「ありがとう（参加してくれてという気持ちで）」と言ったところ、学生から「なぜ、あなたが「ありがとう」と言うの？こちらが言う言葉だよ。」と返ってきたそうです。嬉しいものですね。

広報室 Y. H

広報室では、総研大の研究成果をメディアを通じて広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報は是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記いただけますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2014年11月5日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2014 SOKENDAI